

Evidence Dissemination by Clearinghouses

クリアリング・ハウスを用いた エビデンスの普及

報告者：Haluk Soydan
(University of Southern California)

司会：松田亮三 (立命館大学)

日時：1月27日(月) 10:00～12:00

場所：立命館大学(衣笠キャンパス)

学而館2階第二研究室

- 報告は英語で実施されますが、適宜通訳を行います
- 当日参加も歓迎しておりますが、資料準備等のため、事前の申し込みをいただけますと幸いです。

ハルク・ソイダン教授【略歴】

2004年に、南カリフォルニア大学ソーシャルワーク学院に着任し、ハモヴィッチ対人援助科学センターを統括している。それ以前に、ヨーテボリ大学、ストックホルム大学、エレブル大学教授、コロンビア大学・ペンシルバニア大学客員教授を歴任。スウェーデン健康福祉庁の組織である「エビデンスに基づくソーシャルワーク研究機構」の研究統括者を10年間務め、現在はシニア・アドバイザーとして活躍している。著書として、“The History of Ideas in Social Work(2009)”, “Translation and Implementation of Evidence-Based Practice(2011)”, など多数。

本研究セミナーでは、ソーシャル・ワークや対人支援に関する実践とその評価について、ご講演いただきます。

主催：インクルーシブ社会に向けた支援の＜学＝実＞連環型研究プロジェクト
方法論チーム (MeSTra)

問い合わせ先：立命館大学人間科学研究所

E-Mail：MESTRA_TRANSIS@GMAIL.COM (方法論チーム)